

総合工学委員会原子力安全に関する分科会
福島第一原発事故調査に関する小委員会
第24期・第1回 議事録

平成30年6月8日

作成 澤田 隆

1. 日時 平成30年4月10日(火) 16:00~17:45
2. 場所 日本学術会議5階 5-B会議室
3. 出席者 松岡委員長、越塚、関村、柘植、矢川、白鳥、宮野、山本、吉田、澤田幹事 (成合欠席)
4. 配付資料

- 資料1 総合工学委員会原子力安全に関する分科会小委員会の設置について
- 資料2 総合工学委員会原子力安全に関する分科会福島第一原発事故調査に関する小委員会名簿
- 資料3 報告 東京電力福島第一原子力発電所事故以前の津波対応の経緯から得られた課題(案)
- 資料4 査読コメントの対応結果一覧
- 資料5 原子力学会誌 解説 福島第一原発事故は従前の津波対策で予防できたか
- 資料6 対外報告のポイント

5. 議事

1) 委員長の選出

- ◎ 出席委員全員の一致で松岡猛氏を委員長に選出し、松岡氏はこれを受諾した。
- ◎ 松岡委員長が澤田隆氏を幹事に指名し、澤田氏はこれを受諾した。

2) 総合工学委員会原子力安全に関する分科会小委員会の設置について(資料1)

- ◎ 松岡委員長から設置目的、審議事項等について説明があった。
- ◎ 主な議論
 - 審議事項「2. 事故発生防止対策の原子力規制のあり方」に関して多くの意見が出された。
 - 総合的観点からまとめるべき。
 - バックフィットのあり方の検討が必要。
 - 規制側だけでなく、事業者や学术界のやるべきことの検討も含めて検討することが必要
 - どうやって改善していくかの仕組み作りが重要。
 - 原子力連絡小委の中村 晋氏にもメンバーになって戴くこととした。
 - 必ずしも本小委員会のミッション(審議事項)には含まれないが、学術会議として実施すべき事項に関しても多くの意見が出された。
 - まずは学術会議の中で原子力に関する理解を深める必要が有る。
 - どうやって国民の理解を得るか検討が必要。

3) 委員名簿確認(資料3)

- ◎ 澤田の肩書を政策企画調査官に訂正する。

4) 報告案についての審議(資料3~6)

- ◎ NHKのHPに掲載されている資料の一部が反映されていない等、事実関係の記載に足りない部分があるとの指摘があり、確認の上必要に応じて補充することとした。

- ◎ 本報告は基本的には科学的事実を記載することとしていたが、一部に評価を記載している部分があるとの指摘があり、その評価の記載が適切か否か今後議論していくこととした。
- ◎ 宿題として、資料3（及び資料4）を次回小委員会までにレビューしコメントを出し合うこととした。

5) その他

議事録案をメールで配布、各委員からのコメントを頂いた後、委員長が決定・確認し、HPへ掲載するという手順を承認した。

6) 次回 2018年6月7日（木）16:00~18:00

以上